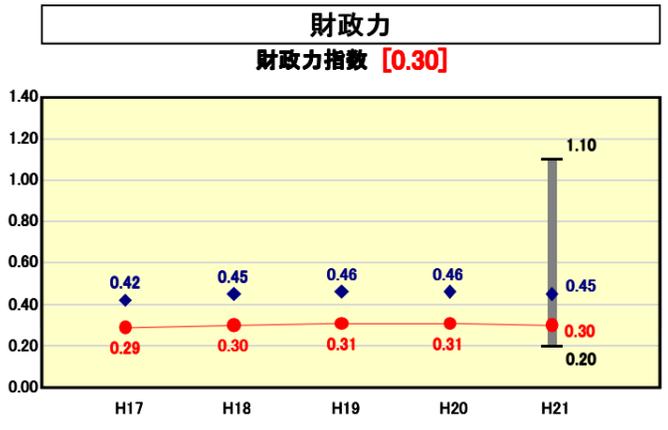


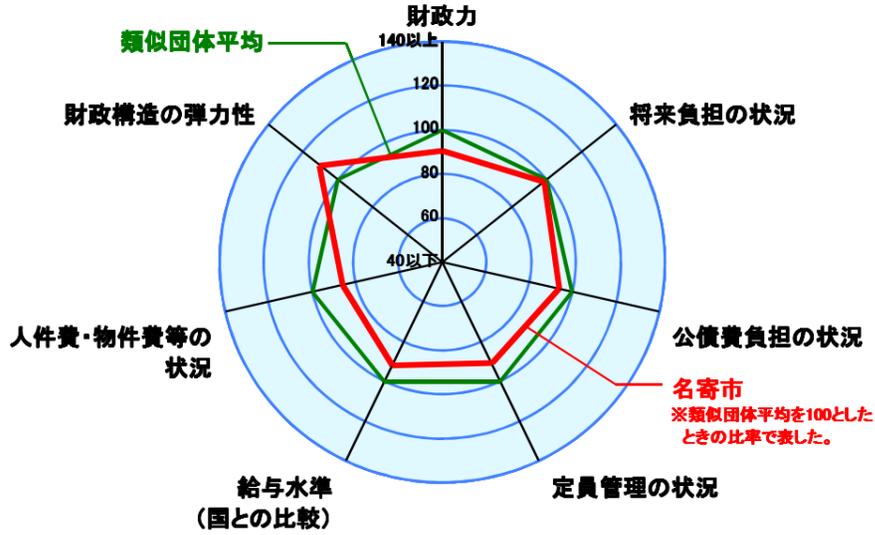
# 市町村財政比較分析表(平成21年度普通会計決算)



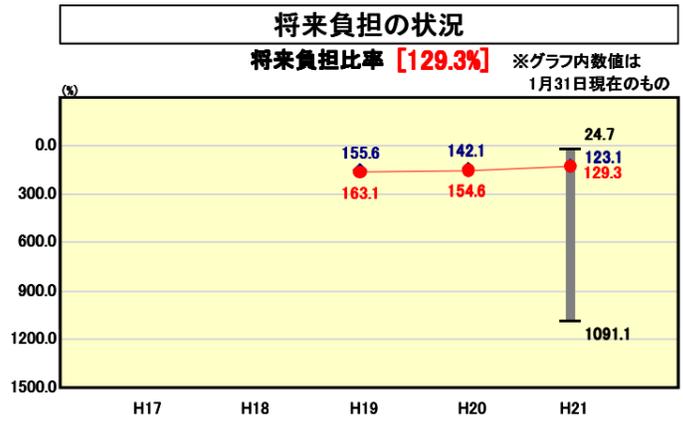
● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の  
最大値及び最小値

類似団体内順位 107/128  
全国市町村平均 0.55  
北海道市町村平均 0.27

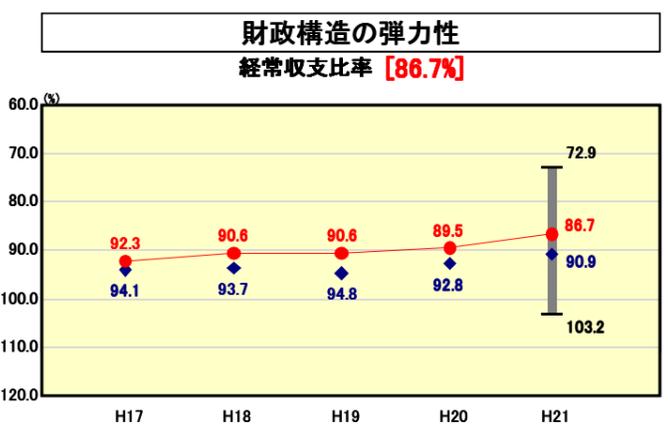
人口	30,608	人(H22.3.31現在)
面積	535.23	km <sup>2</sup>
標準財政規模	11,644,312	千円
歳入総額	21,246,010	千円
歳出総額	20,763,932	千円
実質収支	408,229	千円



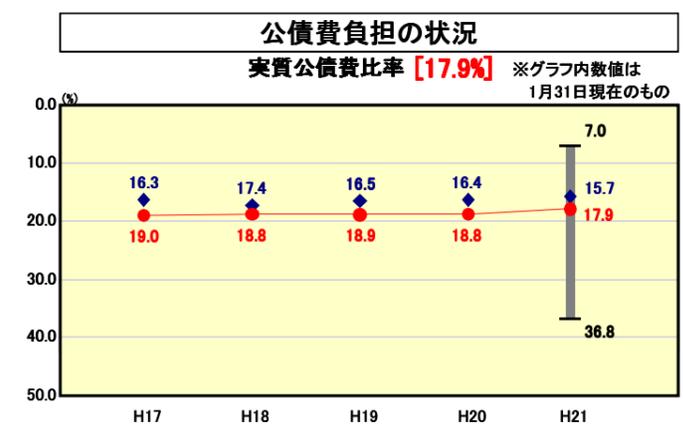
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。



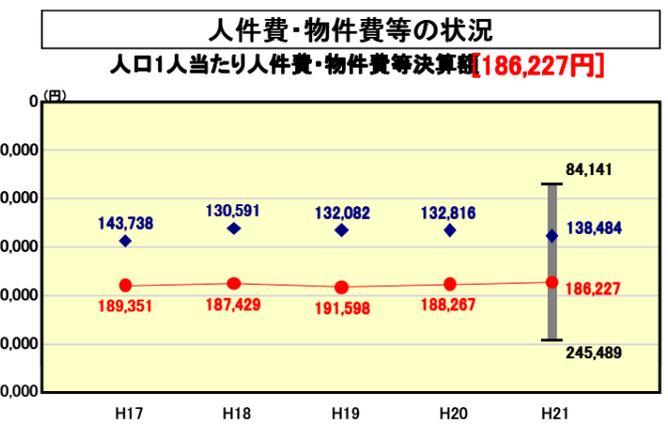
類似団体内順位 72/128  
全国市町村平均 92.8  
北海道市町村平均 116.4



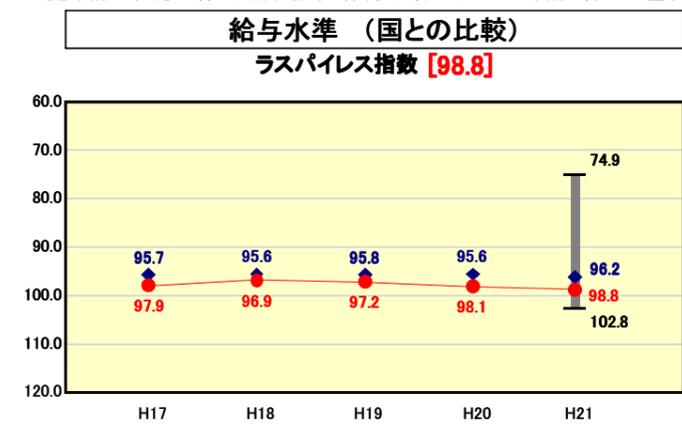
類似団体内順位 23/128  
全国市町村平均 91.8  
北海道市町村平均 91.2



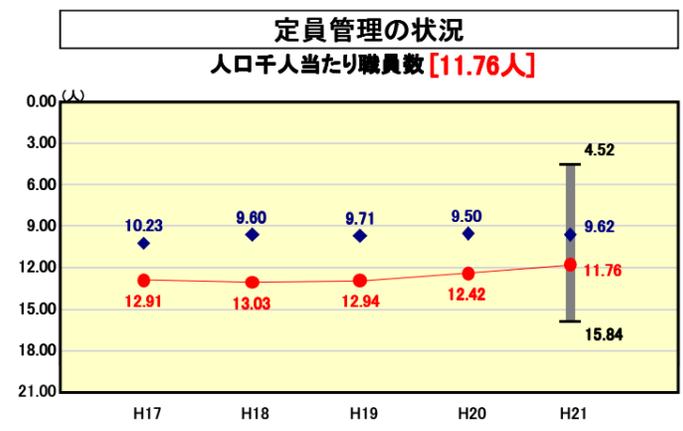
類似団体内順位 91/128  
全国市町村平均 11.2  
北海道市町村平均 13.7



類似団体内順位 113/128  
全国市町村平均 115,856  
北海道市町村平均 135,392



類似団体内順位 101/128  
全国市町村平均 98.8  
全国町村平均 95.1



類似団体内順位 99/128  
全国市町村平均 7.33  
北海道市町村平均 8.22

※人員費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人員費には事業費支弁人員費を含み、退職金は含まない。

## 分析欄

【財政力】  
ここ数年ほぼ横ばいの数字となっており、平成21年度は0.30となりました。  
長引く景気低迷により、市内経済は厳しい状況が続いており、また人口減少や高齢化が進んでいることから、今後指数の大幅な改善を見込める状況にありませんが、引き続き市税等自主財源の確保のため、徴収体制の強化につとめます。

【財政構造の弾力性】  
平成21年度の経常収支比率は前年度より2.8%減の86.7%となりました。  
収入の4割以上を地方交付税が占めることから、交付額の増減に大きく左右されます。  
今後は交付税の削減により財政が硬直化していくことが予想されますので、経常的な物件費の抑制につとめます。

【人員費・物件費等の状況】  
人口1人当たりの人員費・物件費等の決算額は186,227円となりました。  
新・名寄市行政改革推進計画に基づいた職員数の削減の効果が表れてきています。  
今後も人員費、物件費の抑制につとめます。

【給与水準(国との比較)】  
平成21年度の指数は前年度から微増の98.8となりました。  
給与構造の見直しに伴う独自削減率の調整等によるものです。  
今後も厳しい財政状況が続く見込みであり、引き続き類似団体平均を上回っているため、給与水準の適正化につとめます。

【将来負担の状況】  
平成21年度の将来負担比率は前年度から25.3ポイント減の129.3%となりました。  
債務負担行為に基づく支出予定額、退職手当負担見込額の減少が主な要因です。  
今後も、財政運営の健全化・地方債管理の適正化につとめます。

【公債費負担の状況】  
平成21年度の実質公債費比率は17.9%となりました。  
昨年度数値より0.9ポイント減少したことにより、「起債許可団体」を脱しています。  
今後も財政運営の健全化・地方債管理の適正化につとめます。

【定員管理の状況】  
人口1,000人当たりの職員数については、前年度より0.66人減少の11.76人となりました。  
今後も新・名寄市行政改革推進計画に基づき、適正な定員管理を行い、職員数の削減につとめます。

⇐ 平成21年度数値は129.3%から119.7%に変更されています。